

■第6波感染拡大

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

年末恒例の年越し行事「ゆく年・くる年」では、雪の中大勢の方に参拝いただきまして、区役員一同感謝しつつ無事新年を迎える事ができました。

しかし、正月明けから一時は終息に向かうと思われていました新型コロナウイルスの感染ですが、11月以降の感染者減少に伴う気のゆるみと新たな「オミクロン株」とが相まって第6波の感染拡大となり、全国で感染者が激増し、京都府にも、国のまん延防止等重点措置が適用されました。

京丹後市内においても、連日10数名の方の感染者が発生しておりますので、十分な感染予防対策をしていただきますようお願いいたします。

春の訪れが間近に感じられる今日この頃ですが、未だ々寒さ厳しい折、区民の皆さまには、新型コロナウイルスに感染することなく健康に過ごしていただくことを切に願っております。

最後になりますが、コロナに始まりコロナに翻弄され、「住んで良かった三重づくり」道半ばの2年間でしたが、ご協力ありがとうございました。今後とも更なる区政へのご理解・ご協力よろしくお願ひ申し上げます。 三重区長 糸井 正彦

◆今後の各種行事等

- 2月26日(土) 組長会
- 3月12日(土) 組長会
- 3月20日(日) 三重区民総会
- 4月10日(日) 京都府知事選挙

萬歳寺新年の互礼会

一月一日午前十時から萬歳寺で互礼会がおこなわれました。
服部和尚さんは新年の言葉として「元正啓祚 万物咸新」(がんしょうけいそ まんもつみなあらたなり)を引用されました。
元日には幸いが始まり、全てのものが新しく感じられるとの意味だそうです。
コロナ禍が続く中でも日々を大切に暮らしましょうと話されました。
今年はお寺の下の墓地に永代供養塔を建てる予定です。



冬花火とガラ星イルミネーション



萬歳寺托鉢

12月8日(水)服部和尚さんが今年も托鉢にまわられました。

8時から11時頃にかけて区内を歩かれました。

ちょうど80年前、太平洋戦争が始まった日です。二度と戦争の日が来ませんように。



チューリップ植えました!

12月19日(日)文化展で展示した中学生の人権標語を貼ったプランターに、小学生のみんなでチューリップの球根を植えました。冷え込んだ寒い日でしたが、協力し合って楽しそうに植えてくれました。

チューリップが咲く日が待ち遠しいです。



子どもやお年寄りが安全に

～下三重バス停付近の除雪～

1月23日(日)に区役員さんや組長さんで酒戸古を中心に、8,9組住宅までの歩道除雪を実施しました。前日の22日に組長会があり、8組や9組からの歩道が雪で通れないため車道を歩かなければならない。除雪したほうが良いのではないかとという意見が出ました。歩道は中高生が通学のために通ったり、お年寄りがバスに乗るためにも通る必要がある。バス停付近も雪でいっぱいになっている。危ないので早く除雪をしようということになり、急きよ翌23日に作業をすることになりました。区の除雪機2台とあとはスコップを使っての手作業でした。橋やバス停付近などには大きな雪の山があり、スコップで取るのが大変でした。長い距離は除雪機でどんどんとすかしていきますが、国道を通る車を気にしながらの作業でした。途中で雨が降りだしてきましたが、それを忘れるほどみんなが頑張ることができました。



三重神社年越行事

昨年に続き雪深い年の始まりとなりました。

組長さん達が昼の間に参道を除雪し準備をしましたが、夜には又除雪が必要でした。午前0時を過ぎると次々と区民の参拝があり、寒い中約60人もの人たちがお参りに来られました。

親子連れやお孫さんとの参拝、同級生同士に見える若い人たちなど、寒さやコロナ禍を吹き飛ばすように元気な新年のあいさつがあちこちで交わされていました。



除夜の鐘

クリスマスのだカ雪が残ったまま、大雪に見舞われた年末年始でした。

大晦日の午後11時半ころから除夜の鐘の鐘つきが始まりました。

足元が悪く深い雪の中、一年に一度の鐘をつきに家族で来られた人たちも少なくありませんでした。

寅年は『成長』『始まり』の年と言われているそうです。厳しい冬を超えて良い一年になりますように。



みなさんお元気でした！

～節分に恵方巻お届けしました～

2月3日(木)今年も三重福祉会が中心となり80歳以上の方を対象とした「恵方巻お届け行事」が行われました。

直接出会えない方もありましたが、顔を合わせた方は皆さんとてもお元気でした。来年も再来年もまた笑顔で恵方巻を受け取ってほしいものです。配布した恵方巻の本数は55本でした。



三重福祉会を中心とした配布メンバー



